

# 第98回北海道・美幌研修会の活動が

8月27日（土）の美幌新聞と北海道新聞に掲載されました！

## 留学生が美幌でホームステイ

美幌町国際交流推進委員会の受け入れ事業

初日はしゃきつとブラザを訪れ、牧野会長らと

美幌町国際交流推進委員会（牧野泰幸会長）の留学生夏季ホームステイ受け入れ事業に、日本の大学や専門学校で学ぶ中国や台湾、韓国、マレーシアの留学生13人が参加し、24日から町内にホームステイしている。留学生は29日まで美幌町に滞在し、小学校や高校訪問、華道やイモ掘り体験、国際交流ヒールパーティーへの参加など美幌での生活を満喫する。

### 体験や交流楽しみ

面談、牧野会長が「ようこそ美幌町へ。美幌の短い夏を楽しんでほしい。この経験を母国に伝えて



しゃきつとブラザを訪れ、牧野会長らに自己紹介する留学生

いたとき、将来日本と母国との懸け橋となつてほしい」と歓迎した。続いて自己紹介した留学生は「アニメが好きです」、「北海道といえはカニとラーメンが楽しみです」など、流ちょうな日本語で興味や好みを伝えました。また、将来については数人の留学生が日本での就職を望んでいると答えました。

留学生はこのあとホストファミリーと対面し、美幌町での5泊6日の夏季ホームステイをスタートした。

美幌新聞



小学校を訪問し、児童と一緒に給食を楽しむ留学生（美幌小）

2016年（平成28年）8月27日（土曜日）

## 北海道新聞

### ちぎり絵に興味津々

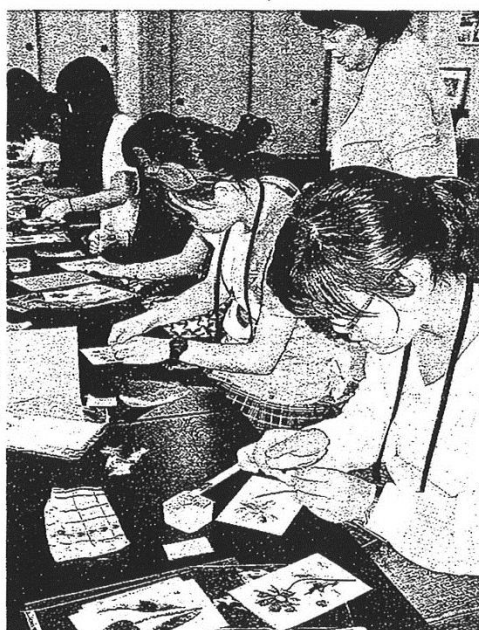
アジアの留学生 美幌で体験

【美幌】首都圏で留学中のアジア圏の留学生13人が、町内でホームステイしながら町民と交流を深めている。

町国際交流推進委員会が毎年夏、国立国際交流奨学財団（東京）が募集した留学生を受け入れている。今年は中国、マレーシア、韓国、台湾からの留学生が24日から5泊6日の日程で滞在している。

25日は町内の3小学校を訪れて児童と給食などを楽しんだ後、美教寺でちぎり絵を体験した。美幌でも教室を主宰する網走の波津康子さんの手ほどきで、染色された和紙を花びらや茎などの形にちぎり、はがきに丁寧に張り付けてコスモスとチューリップを完成させた。中国から来た秦小淳さん（21）は「初挑戦ですが、きれいにできた。友達に送りたい」と出来栄に満足していた。

滞在中、華道やジャガイモ収穫、国際交流パーティーなども予定されている。（嶋田直純）



ちぎり絵を楽しむ留学生